

# 旧川復元運搬路設置箇所調査（神田副学長立会）

場 所：オソベツ川右岸 平成 18 年度 運搬路設置箇所

立会日：平成 19 年 2 月 8 日

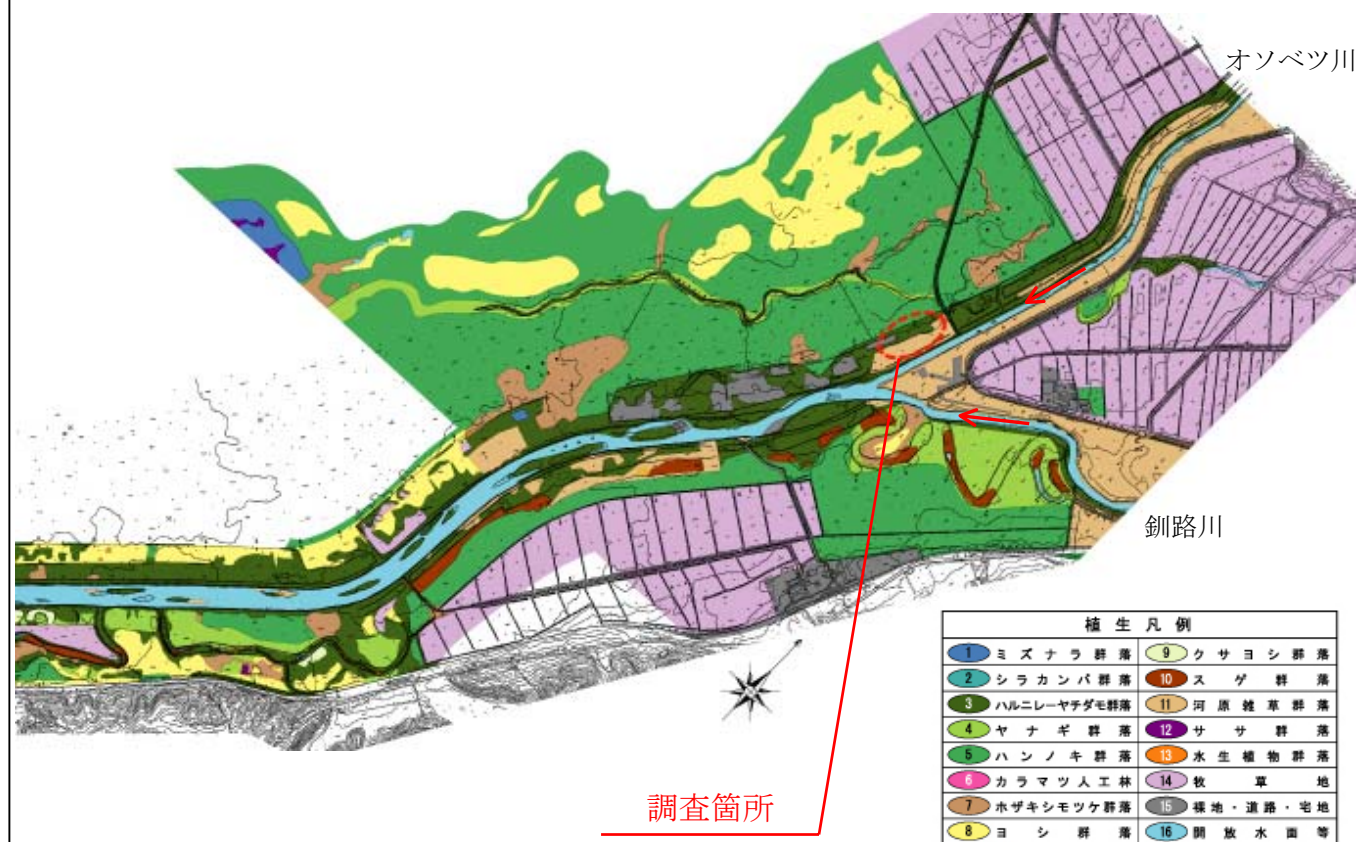
参加者：北海道教育大学 神田 副学長（旧川復元小委員会 委員長）

## 1. 調査目的

茅沼地区旧川復元は釧路湿原自然再生事業として、平成 18 年 8 月に茅沼地区旧川復元実施計画を策定し、平成 18 年 12 月 6 日から工事に着手しています。工事に際しては実施計画に基づき自然環境への配慮をしながら進め、更に詳細については専門家などと連携して実施するように努めることとしております。

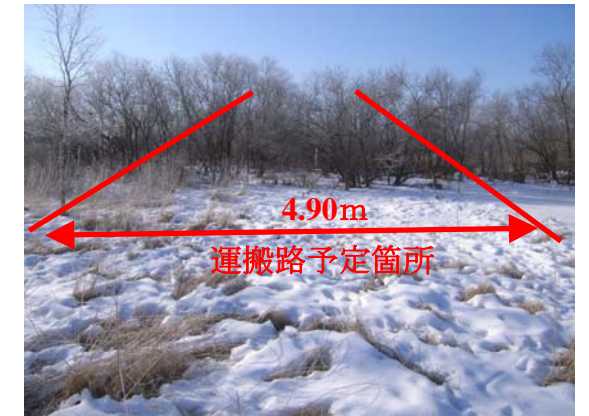
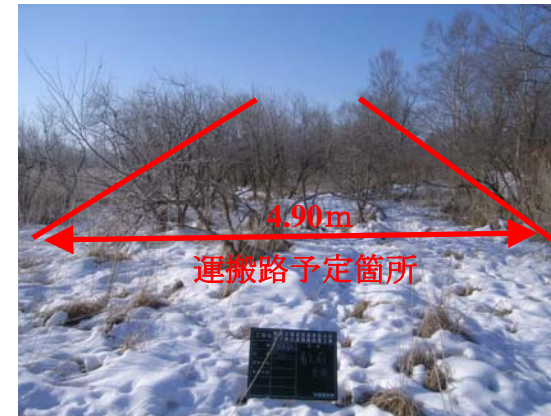
今回、仮橋が設置され運搬路設置予定箇所を調査することが容易になったことから今年度施行箇所について、専門家から釧路湿原の植生に対するアドバイスを頂くことを目的に調査を実施しました。

## 2. 調査箇所



## 3. 平成 18 年度運搬路予定箇所の確認種

- ・ 改変予定地周辺の植生はヤナギ低木類(38 本)、ヨシ、その他雑草類が大半を占めていた
- ・ ハンノキ(1 本)、シラカンバ(2 本)、ホザキシモツケ(8 株)が点在
- ・ 大径木はなく、樹林帯等は見られない



## 4. 現地調査状況



## 5. 主な意見

- ・ 改変予定地は湿原周辺や河畔等に一般的に見られる植生からなる
- ・ ホザキシモツケは改変予定地以外で多くの群落を確認しており影響は少ないと判断
- ・ 運搬路は 4.9m 幅で計画しており、設置に伴う周辺植生への影響についても問題ないと思われる
- ・ 河川沿いに続く、小高い堤防状（幅約 3m）の地形を運搬路に利用してはどうか？湿原植生への影響はかなり小さくなると思う。